

五年生の時に道徳でなされたよこま川の授業で、

その川の水も海に流れてしまえば海かよこま川とあかた。

日本におなじみのマグロやウナギが食べられなくなるといふ絶滅

危機がせまってきた。マグロやウナギが世界の人が食べられなくなるといふ

どうすればいいのだろうか。

世界中の海には、毎年800万トンのプラスチックゴミが流れ込ん

だといわれているらしい。このままだと、その量はともども多く

2050年には海に流れ込んだプラスチックゴミが海の魚の目

を超えるだろうといふ予想もある。海にゴミが捨てられな

うにするために、ゴミを捨てるという言葉を看板やけいじ物

に書いて海をきれいにする、地域のゴミひろいをすれば海にプラ

チックゴミが流れないようになると思っている。

確かに海にゴミを捨ててない人も地域のゴミひろいを

のかもしれないし、出来ない。しかし海本来の自然にもど

らないと、いろいろな人が魚を食べられなくなり、海であそべなく

なるからいろいろな人が協力をしていたほうがいいと思

へ出典

EduTown SDGs

世界の国や地域が協力して

持続可能な開発を目指してSDGs

東京書 作者